



前回ご意見及び回答

1. 前回会議時におけるご意見及び回答

はじめに

	施策	審議会意見	回答及び対応
1	川島町の今 (現状)	<p>情報教育充実への意識を削除しているが、当該施策は教育の質の向上に係る手段であることから削除したということか。</p> <p>また、一人一台端末の配備が完了し、ハード的な導入率も達成されているということか。</p>	<p>ICTの活用は教育の質の向上に係る一つの手段であるため削除した。</p> <p>また、コロナ禍のタイミングで、一人一台端末については配備が完了している。</p>

基本構想

	施策	審議会意見	回答及び対応
1	土地利用構想	<p>市街化調整区域を将来的に開発していくという視点が必要なのでは。</p>	<p>前期計画を踏まえた中間見直しであり、大幅な変更は予定していない。</p> <p>コンパクトシティという概念のもと、市街化区域に開発を集中させ、市街化調整区域は維持をしていくという流れを受けた中での土地利用構想である。</p> <p>一方で、多くの規制を受ける調整区域においても、11号区域に指定するなど、地域振興に係る開発ができないか、検討していく。</p>

1. 前回会議時におけるご意見及び回答

戦略目標 1 まもる 「未来に続く安全・安心な暮らしをまもる」

	施策	審議会意見	回答及び対応
1	主な施策4 交通安全の推進	自転車乗車用ヘルメット着用率の令和12年の目標値が21%となっているが、数値の根拠はあるのか。もっと高い評価指標の設定を検討すべきである。	全国平均を上回る数値で設定している。R12目標値の21%は、R5全国調査において、都道府県ごとの順位で上位10位の数値であるため、これを目標としている。 (参考) 全国平均：13.5%、埼玉県平均：6.1%。
		中学生の通学時ヘルメット着用率は100%だと思うが、含まれているか。	町調査は、カインズ・ヤオコーの駐輪場で計測している。全国調査は、駅・商店街・ショッピングセンターの駐輪場で計測している。町調査は、全国調査に準じた方法であり、公正な調査方法と考えるため、現在の方法を継続していく。

1. 前回会議時におけるご意見及び回答

戦略目標2 つなぐ 「未来に向けて人と人をつなぐ」

	施策	審議会意見	回答及び対応
1	主な施策1 多文化共生社会の推進	町内では外国人が増えており、言語が異なることから、意思の疎通が図りにくいという課題がある。翻訳機の設置等検討する必要があるのでは。	最近では翻訳アプリも機能が発達しており、町民のスマホ保有率も9割を超えている状況である。 今後は、スマホ等を活用した国際交流等にも取り組んでまいりたい。 また、学校では、「ポケトーク」という翻訳機の貸出を実施している。 多文化共生に向けて、町全体で翻訳機の活用等について、検討する。
2	主な施策5 新しいつながりの創出	町への寄附額と町の税控除額を比較した際は黒字ということか。	寄附金額が多くなっている。 令和6年度に寄附額が多かった品物としてはイチゴ・コメ・せんべいである。 他の自治体への寄附額（町税控除額）については以下のとおり。 R7年度：約29,500千円 R6年度：約25,300千円 R5年度：約21,100千円

1. 前回会議時におけるご意見及び回答

戦略目標3 つくる 「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」

	施策	審議会意見	回答及び対応
1	重要施策① 川島インターチェンジ周辺整備の推進	評価指標である「工業用地の拡大面積」について、令和12年で約159haと不連続な目標値となっているが、ということか。	インターチェンジ南側開発地区のうち、29haについて先行して、開発に向けて関係機関との調整を進めているところである。残りの40haについても順次進めていく予定である。
		先行の29ha及び40haについての進捗を示してほしい。 また、進出企業等の情報開示はどうなっているか。	第1期として開発を進めている約29haについては、10月に都市計画法第17条に基づく計画の縦覧を予定しており、県の都市計画審議会等の手続きを経て、概ね翌年5月頃には都市計画決定になると見込んでいる。 進出企業については、お示しできる段階になりしだい、住民の皆様にも情報提供する予定である。 残りの約40haについては、順次開発に向けて協議を進めていく予定である。

1. 前回会議時におけるご意見及び回答

戦略目標3 つくる 「未来へ輝く稼ぐ地域をつくる」

	施策	審議会意見	回答及び対応
2	主な施策2 地域特性を活かした農業振興	コメ不足等を受け、農業の方向転換等も報道されるなど、国の農政も揺れ動いている状況だが、国の方針等をどのように計画に反映するのか。	国からも方針が来ているわけではなく、後期基本計画への反映はしない方向である。

1. 前回会議時におけるご意見及び回答

戦略目標 4 そだてる 「未来へはばたく人財をそだてる」

	施策	審議会意見	回答及び対応
1	重要施策② 社会を生き抜く 人財の育成	現状値1/14から令和7年が8/14と大幅に増となっているが、どのような施策を実施することで達成するのか。	町では英検取得支援等、英語教育を特に推進しているが、目標値達成に向けて、指導力向上も含め授業改革に取り組んでいく。

1. 前回会議時におけるご意見及び回答

その他

	審議会意見	回答及び対応
1	市街化調整区域について、農業関連施設の開発に係る規制はないものと認識しているが、畜産農業の異臭問題について、一定の規制が必要では。	住民からの声ということで担当課に伝える。法律に基づき、違反がないか確認の上、行政として何ができるか検討する。
2	ICT教育の推進にあたり、端末の故障時のメンテナンスといったハード面や、AIをどのように活用するのかといったソフト面も検討すべき。	端末が破損した場合、状況に応じ町において修理している。故障等があった場合には学校にご相談いただきたい。また、導入から5年が経過することから、機種の変更も予定している。ソフト面についても、いただいたご意見を踏まえ、担当課と検討していく。